

事前評価チェックシート

計画の名称： 自転車活用推進計画に基づく自転車通行空間整備（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 上位計画との整合性 上位計画の政策目的と整合している。 浜松市自転車活用推進計画（令和元年度～）に沿った自転車通行空間整備事業である。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性) 健康増進や環境保全への意識の高まり等により、移動手段として自転車利用のニーズが一段と高まっているため、自転車通行空間の整備により、自転車・歩行者が安全に安心して通行できる道路空間を創出する。	○
II. 計画の効果・効率性 整備計画の目標と定量的指標の整合性 自転車通行空間の整備により、安全・安心な道路空間を創出する目標に対し、自転車関連事故の発生を抑制する指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 定量的指標の明瞭性 指標の現況値は、令和4年に市内で発生した自転車関連の人身交通事故発生件数を設定しており、事業完了後に自転車関連の人身交通事故発生件数を調査することにより自転車事故削減率を示すことが可能。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性 自転車通行空間の整備により、自転車が安全に通行できる空間や、歩道内を安心して歩行できる空間が確保でき、目標である自転車・歩行者ともに安全に安心して通行できる道路空間が創出される。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性 本事業の実施によって自転車通行空間の整備が図られ、ネットワーク化されることで、安全・安心な自転車走行空間や歩道内の安全な歩行空間の創出が図られることから、自転車関連事故が削減されると見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性) 「浜松市自転車活用推進計画」は、パブリック・コメントにより、市民の声を幅広く取り入れ策定したため、本事業は円滑な事業執行が可能である。	○
III. 計画の実現可能性 地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性) 道路管理者や交通管理者、自治会など関係機関が連携して様々な安全対策に取り組んでいるなかで、安全で安心な自転車通行空間の整備については市民の関心も高く、事故の削減に向けては関係機関によるソフト対策と合わせて効果が見込まれる。	○